

2020.4.3

新型コロナウイルス危機対策本部からのお知らせ
教職員、学生の皆さんへ

附属病院の新型コロナウイルス対策は危機対策本部との密接な連携の下に、病院危機管理委員会が中心となり、徹底した感染予防対策が実施されています。

全国的には、感染陽性者の発生や診療継続の必要性から、病院関係者にとって負担の大きい臨床実習を中断する大学が増えています。その中で、本学では、附属病院関係者の献身的な尽力により、学生の健康管理を行いながら臨床実習を継続しています。これは、病院関係者が、医学・看護学教育における臨床実習の重要性を広く理解しているためであり、保健管理センター、感染対策室、各講座、関係部署などの協力と支援によって可能となっています。関係者の皆様に改めて御礼申し上げます。

また、実習中の学生は、附属病院関係者の尽力に感謝すると共に、皆の期待に応える臨床実習を行ってください。真摯な態度で実習に臨み、非常時の診療の在り方を肌で感じ取り、医療人としての資質を磨いて下さい。先月、全ての臨床実習中の学生に徹底した自己管理、感染予防を指導しましたが、万が一にも学生から陽性者が出た場合は、実習のみならず、病棟閉鎖など、診療に甚大な影響を与えます。学生はこのことをしっかり自覚し、大学外生活も含め、医学生、看護学生として相応しい十全な感染対策を取って下さい。

学長 今野弘之

